

7/1に、震災後初となるアワビ稚貝の放流がありました。東日本大震災により、県の種苗生産施設が被災したため、アワビの種苗生産ができない状況にありましたが、国の“被災海域における種苗放流支援事業”の活用により、福島県栽培漁業協会の職員が、南伊豆町にある独立行政法人水産総合研究センターにおいて生産しました。アワビ種苗の供給については、漁業者から非常に強い要望があり、漁業者自ら伊豆の生産施設へ激励、研修に赴くほどでした。早期の放流再開に喜びの声が聞こえています。

なお、生産された種苗の母貝には、いわき産アワビを供しており、遺伝的多様性の保持に配慮しているほか、新しいアワビの疾病にも対応した体制で生産が行われました。

